

細菌検査精度管理 参加説明書

(一社) 食品微生物科学協会
精度管理委員会

この度は、細菌検査精度管理にご参加いただき、ありがとうございます。

本書は参加に際しての手順や注意事項をまとめたものですので、事前の一読してください。

内容

I. 細菌検査精度管理の内容確認	2
II. 注意事項	2
III. 試料の開梱手順	3
IV. 検査の実施例 ※日常の検査方法で行ってください。	4
【参考】一般生菌数 算出記入表	6
V. 検査結果記入表の提出について	7
【メール送信見本】	8

I. 細菌検査精度管理の内容確認

1. 試料：スキムミルクを基材とした共通試料（40 g）
※到着予定日：2025年11月4日発送、11月5日着予定
（沖縄、九州、北海道は11月6日着予定）
2. 検査項目：一般生菌数・大腸菌群および大腸菌
3. 提出期限：**2025年11月18日必着**
4. 問合せ先：seido@kobe-biseibutsu.or.jp
5. 結果報告：（一社）食品微生物科学協会HPにて公開（2025年1月予定）

II. 注意事項

1. 技能評価証を発行する人は、**1試料1名のみ**とします。
2. 一般生菌数は**検査結果は1件だけ**で構いません。その提出した結果にて一般生菌数の評価を行います。
3. 試料の再送付はできませんので、取り扱いには注意してください。
（試料がフタに付着するおそれがあります）
4. 検査は試料が到着した日から遅くとも3日以内に実施して下さい。試料を保管する場合は冷蔵し、冷凍保管は行わないで下さい。

III. 試料の開梱手順

写真	開梱手順
 梱包状態は変わる可能性があります	1. 試料は、発砲スチロール製容器に入れた状態で到着。 2. 到着日と時刻を記録する。 3. 梱包容器の損傷有無を確認し、記録する。 【メモ】 到着日（月日）： _____ 時 刻（時分）： _____ 試料数（個）： _____ 梱包容器の損傷： ☐ 損傷あり ☐ 損傷なし
	4. 容器のふたを開ける。（中には、チャック付ポリ袋に緩衝材で覆った試料瓶（プラ製）と保冷剤が入っている。） 5. 試料瓶の損傷有無を確認し、記録する。 6. 検査開始前まで冷蔵庫に保管する （冷凍厳禁！！） 【メモ】 試料瓶の損傷： ☐ 漏れあり ☐ 漏れなし 試料瓶の損傷： ☐ 破損あり ☐ 破損なし 検査開始までの試料保管条件（冷蔵, _____℃）

登録番号 No. : _____ 送り状に記載された番号を記載してください。

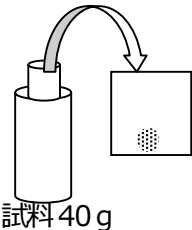
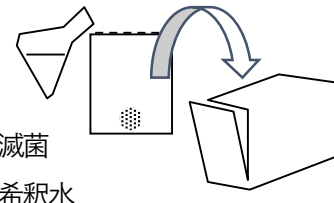
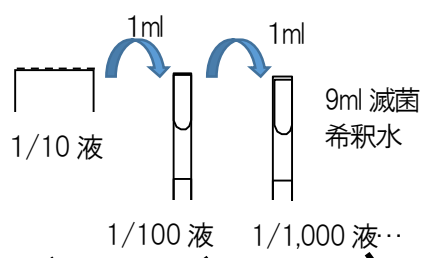
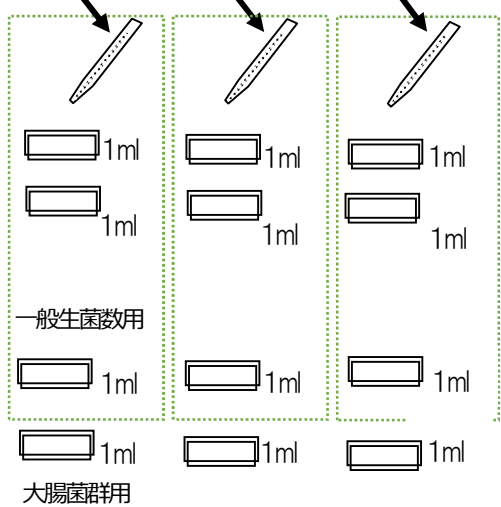
事業所名 : _____

検査者 : _____

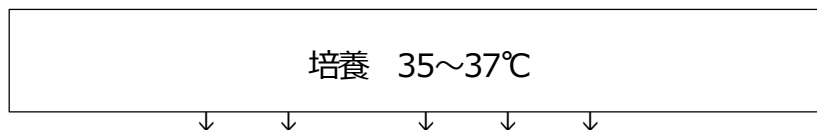
IV. 検査の実施例 ※日常の検査方法で行ってください。

検査者. :

会員 No. _____

1. 試料の調製 検査開始日（月日） : _____ 操作開始時刻 : _____	
 試料 40g	*以下、所定の細菌検査の注意事項を守る。 ① 試料 40g の入った容器から 10g を無菌的に採取し、スリマッカ-袋に入れる。 ・試料採取量（g） : _____
 滅菌 希釈水	② 10 倍希釈になるように、滅菌希釈水を入れる。 ・試料採取量+滅菌希釈水の合計量（g） _____ ③ スリマッカ-（マスディケーター）にかける。
2. 希釈・シャーレへの添加(混釈法：一般生菌数，大腸菌群数) ※試料中の菌数が $1.0 \times 10^5 \sim 10^7$ cfu/g を想定して検査を実施して下さい。	
 1ml 1/10 液 9ml 滅菌希釈水 1/100 液 1/1,000 液...	④ ピペット系列で希釈する(以下、必要に応じて希釈する) 1/10 液 → 1/100 液 → 1/1,000 液 1/10,000,000 液
 一般生菌数用 大腸菌群用	⑤ 滅菌シャーレに滴下する ⑥ よく混釈する（操作終了） ・シャーレへの注入量（ml） : _____ ・操作終了時刻 : _____

3. 培養 *各社使用の培地、試験方法で実施する。



・培養開始時間（時分）：_____

・培養温度：_____℃

4. コロニー数測定【①大腸菌群】

大腸菌群測定日（月日）：_____

培養終了時刻（時分）：_____ 培養温度：_____

[注意事項]

- ・寒天培地による検査を行った場合、検出されたコロニーの大きさ、色が明らかに違う場合は、それごとに分けてカウントすることを推奨します。

デノ培地の場合：コロニーの大きさ（大小）

酵素基質培地の場合：コロニーの色（青色、赤紫色など）

- ・検出されたコロニーは、“陰性”或いは“陽性”の判定も実施して下さい。

5. コロニー数測定【②一般生菌数】

一般生菌数測定日（月日）：_____

培養終了時刻（時分）：_____ 培養温度：_____

[注意事項]

- ・上位者のダブルチェックをお願いします。

*過去に計算間違い、記載ミスなどが疑われる場合が散見されますので、結果を提出する際は、十分ご注意ください。

6. 結果報告

- ・結果表の記載方法、帳票は、以下のホームページにて確認をお願いします。

[一般社団法人食品微生物科学協会]

URL : https://www.kobe-biseibutsu.or.jp/mt_sozo/index.php?CCD=003

【参考】一般生菌数 算出記入表

試料番号：		検査者：		
希釈倍率	1 枚目	2 枚目		結果
1.0E+01				
1.0E+02				
1.0E+03				
1.0E+04				
1.0E+05				
1.0E+06				
1.0E+07				

試料番号：		検査者：		
希釈倍率	1 枚目	2 枚目		結果
1.0E+01				
1.0E+02				
1.0E+03				
1.0E+04				
1.0E+05				
1.0E+06				
1.0E+07				

V. 検査結果記入表の提出について

1. 提出書類

① 検査結果記入表（Excel ファイル）

※様式の変更は不可。最新の様式は、（一社）食品微生物科学協会のホームページよりダウンロード可能。

2. 提出方法

- 検査結果は事業所単位でとりまとめのうえ、1 件のメールにてご送付ください。
- “3.手順”に従い、各ファイルをご記入・ご確認のうえ、メールにてご提出をお願いします。

3. 手順

(1) 記入手順

【 検査結果記入表 】

- Excel ファイル内「検査結果記入表」シート（黄色枠）にご記入ください。
- 「記入例」シートをご参照いただき、記入漏れや計算ミスがないようご確認ください。
- ファイル名には、**検査者名または代表者名**を含めてください。

(2) 提出前の確認事項

以下の点について、送信前にご確認をお願いいたします：

- 社名および検査者名の記載はございますか？
- 菌数算定における記入漏れや計算ミスはございませんか？
- 上位者による結果の確認は済んでおりますか？

(3) メール送信方法

宛先：seido@kobe-biseibutsu.or.jp

件名：精度管理（会社名）

本文：以下の情報をご記載ください

- 会社名
- 事業所名または工場名
- 添付ファイル数

添付ファイル：検査結果記入表（検査者の名称）

※添付ファイルの容量が 2MB を超える場合は、分割してご送信ください。

(4) 提出期限

2025 年 11 月 18 日(火)必着

[メール送信見本]

宛先 : seido@kobe-biseibutsu.or.jp

cc

BCC

件名 : 検査結果のご報告 (〇〇株式会社／〇〇事業所)



精度管理委員会 御中

検査結果を添付にてご報告いたします。
よろしくお願いいたします。

〇〇株式会社/〇〇事業所

〇✕谷 △△絵

TEL : 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

Email : 〇〇〇〇@〇〇.co.jp

以 上